

大総務第 157 号
令和 4 年 2 月 15 日

大阪市外郭団体評価委員会
委員長 野村 祥子 様

大阪市長 松井 一郎
(担当：総務局行政部総務課法人グループ)

諮問書

大阪市外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例（平成 25 年大阪市条例第 10 号）第 7 条第 1 項に規定する外郭団体である公益財団法人大阪市救急医療事業団による令和 3 年度の経営評価（対象事業活動）の結果及び所管所属である大阪市健康局による大阪市外郭団体の事業経営の評価等に関する指針を定める規程第 4 条第 3 号イの規定に基づく当該経営評価の審査の結果について、同条例第 7 条第 4 項の規定に基づき、別紙により諮問します。

令和3年度 事業経営評価

団体名	(公財) 大阪市救急医療事業団	所管所属名	健康局
-----	-----------------	-------	-----

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	大阪府医療計画に基づき市町村の役割としてある初期救急医療体制を確保するため、市内において休日・夜間の急病診療事業を実施すること。
	(2) 中期目標期間
	令和2年9月11日から令和6年3月31日までの4年間
中期目標	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	市内における休日・夜間の急病診療事業を実施するため医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携がなされ、休日・夜間の急病診療事業が中期目標の期間を通じて安定的かつ継続的に実施できている状態

外郭団体の自己評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価	
	令和3年度においては、コロナ禍により通常の休日・夜間の急病診療事業が困難な中、研修内容の充実や後送病院確保等の取組みを実施し、患者診療実態調査票については回収作業が進んでいる。事業団として、医療従事者の確保と後送病院の安定的な確保の取組みができたことにより、初期救急医療体制確保に繋げることができた。	
	最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
	ア	コロナ禍の影響も懸念されるが、最終目標達成のためには、以下の取組みをしっかりと進めることが必要である。 医療従事者の確保については、PPE(個人用防護具)等感染予防策や研修の充実に努める。 また、後送病院の確保については、患者診療実態調査票の回収促進、看護師や出務医師への聞き取りを継続し、医療機関に関する情報収集を行うなどにより、後送病院数を維持できるよう努める。
当該事業年度の評価	当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価	
	初期救急医療に求められる医療従事者の確保と適正な後送病院の安定的な確保に向けた取組が進められ、年度計画に掲げたほとんどの目標が達成できている。結果、休日・夜間の初期救急医療体制が確保でき、新型コロナウイルス感染症の急拡大の中においても、市民に対し急病診療が継続して提供できたことは評価できる。 年度計画で掲げた指標の中で唯一、「患者診療実態調査票の回収率」の目標が昨年に引き続き未達成となったが、前年度よりも改善しており、次年度の目標達成に向け、引き続きの取組を期待したい。	
	助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第7条第5項】(※必要な場合のみ)	

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一-1 (※分野ごとの評価)

中期計画	団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容
	<p>【医療従事者の確保】</p> <p>(ア) 看護師に対する採用時研修の実施 (イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施</p> <p>(ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施 (エ) 勤続3年以上の看護師の割合</p>

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容																	
	<p>(ア) 看護師に対する採用時研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休日・急病診療所特有の業務に携わるにあたっての知識や技術の習得を目的として、全ての新規採用者に対して経験やスキルに応じた研修を個別に実施する。 ・指導看護師の意見を取り入れ、研修マニュアルや指導内容の更なる充実を図る。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 	<p>(ア) 看護師に対する採用時研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1月1日から12月31日までの全ての新規採用者(10名)に対して、経験やスキルに応じた研修を個別に実施した。 ・指導看護師の意見を取り入れ、コロナ禍に対応するために感染症対策の比重を大きくするなど研修マニュアルや指導内容の充実を図った。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足であるとの回答を得た。 																	
	指標Ⅰ	採用時研修における受講者満足度																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5【最終】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R2	R3	R4	R5【最終】		目標値	80%	80%	80%	80%		実績値	100%	100%			
	R2	R3	R4	R5【最終】															
目標値	80%	80%	80%	80%															
実績値	100%	100%																	
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a: 目標達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった																	

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容																	
	<p>(イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知識や技術の習得を目的として、初期救急医療業務を中心に医療全般に関するテーマの研修を、中堅看護師等を対象に1回実施する。 ・医師会等の外部機関の研修を取り入れるなど多種多様な研修を受講させる。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 	<p>(イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍においては集合研修が困難なため、web研修と自己演習の併用により「AEDの使い方」をテーマに実施し、全看護師が参加できた。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足であるとの回答を得た。 																	
	指標Ⅱ	スキルアップ研修の受講者満足度																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5【最終】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td>80%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R2	R3	R4	R5【最終】		目標値	80%	80%	80%	80%		実績値	100%	100%			
	R2	R3	R4	R5【最終】															
目標値	80%	80%	80%	80%															
実績値	100%	100%																	
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a: 目標達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった																	

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容																	
	<p>(ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症等の新興感染症を含む感染症について、予防知識の習得を目的として感染予防研修を、中堅看護師等を対象に1回実施する。 ・昨年は、感染症予防や受講者の参加しやすさの観点から集合研修よりDVD研修が適切であると考え実施したところ、勤務時間内に参加可能なDVD研修を希望する意見が多かったため、今年もDVD研修を検討する。 ・受講者アンケートにより受講者の満足度を確認し、改善に努める。 	<p>(ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD研修よりも参加しやすいweb研修により「感染対策防護用具と環境清掃」をテーマに実施し、全看護師が参加できた。 ・受講者アンケートにより全受講者から満足であるとの回答を得た。 																	
	指標Ⅲ	感染予防研修の実施回数																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5【最終】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R2	R3	R4	R5【最終】		目標値	1回	1回	1回	1回		実績値	1回	1回			
	R2	R3	R4	R5【最終】															
目標値	1回	1回	1回	1回															
実績値	1回	1回																	
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a: 目標達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった																	

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容																	
	<p>(エ) 勤続3年以上の看護師の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記(ア)～(ウ)の取り組みの効果を評価する指標として、勤続3年以上の看護師の割合を単年度においても評価する。 	<p>(エ) 勤続3年以上の看護師の割合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PPE(個人用防護具)の確保や発熱患者の隔離を徹底、また、良好な換気状態を維持することによって一層の空気感染対策を図るため二酸化炭素濃度計を各診療所に設置するなど、あらゆる新型コロナへの感染予防策を実施することによって看護師の不安を取り除くなど良好な職場環境の維持に努めた。 ・勤続3年以上の看護師の割合目標(60%)を達成(66%)することができた。 																	
	指標Ⅳ	勤続3年以上の看護師の割合																	
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5【最終】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>60%</td> <td>60%</td> <td>60%</td> <td>60%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>64%</td> <td>66%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		R2	R3	R4	R5【最終】		目標値	60%	60%	60%	60%		実績値	64%	66%			
	R2	R3	R4	R5【最終】															
目標値	60%	60%	60%	60%															
実績値	64%	66%																	
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a: 目標達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった b: 目標未達成: (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった																	

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A	A: 指標全部達成 B: 指標全部未達成 C: 指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」
	当該事業年度の達成状況について					
	採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、すべての参加者から満足したとの回答を得て、目標を達成することができた。 感染予防研修についても、期間中に1回実施することができた。 勤続3年以上の看護師の割合については、全看護師数92名中61名(66%)を確保することができた。					
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について					
採用時研修やスキルアップ研修の受講者満足度については、参加者のうち80%以上が目標であるが、令和3年同様に100%の満足度を目指し、更なる研修内容等の充実に努める。 感染予防研修については、令和4年も対象者が参加しやすいwebを利用した実施を検討する。 勤続3年以上の看護師の確保についても、各種研修や職場環境の改善等に努め、現状維持に努める。						

市の審査	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア: 「順調」 イ: 「遅れあり」 ウ: 「計画の見直し必要」	「様式1: 中期目標(3)」 に対する取組の有効性	A	A: 有効であり、継続して推進 B: 有効でないため、取組を見直す
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修にかかる受講者アンケート結果を確認したところ、全受講者が満足であると回答しており、研修に係る取組は順調に進捗した。また、勤続3年以上の看護師の割合も昨年に引き続き目標を上回っていることから、外郭団体の自己評価は妥当である。					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
新型コロナウイルス感染症の急拡大の中においても、勤続3年以上の看護師の割合が目標である60%を2年連続で超えており、各種研修の実施や感染予防対策を含む職場環境の改善によって、医療従事者の確保に繋がったと評価する。						

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一2

(※分野ごとの評価)

中期計画	団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容	
	【後送病院の安定的な確保】 (ア) 後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 (ウ) 新たに後送病院を希望する医療機関への取組み	(イ) 患者診療実態調査票に記載された意見等への対応

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容			
	(ア)後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 ・患者を受け入れた後送病院に対して、調査票を送付し、後送した患者の実態把握を行うとともに、意見や要望等があれば調査票に記載してもらうことで問題点や課題の把握・解消に努める。 ・患者を受け入れた全ての後送病院に対して調査票(令和3年1月から11月送付分)の回収を行い、回収率100%を目標に取組み。 ・調査票の提出が遅い病院に対して電話にて返送を促す。	(ア)後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 ・1月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して調査票(851件)を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・上記のうち、12月31日までの回収数は833件(約98%)であるが、未回収の調査票についても電話にて返送を促しており、年度内に回収(残りの18件)できる見込みである。			
	指標V	患者診療実態調査票の回収率			
		R2	R3	R4	R5【最終】
	目標値	100%	100%	100%	100%
	実績値	79%	98%		
当該年度の目標達成状況	b(i)	《達成状況》 a：目標達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった			

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容			
	(イ)患者実態調査票に記載された意見等への対応 ・患者を受け入れた後送病院に対して、調査票を送付し、後送した患者の実態把握を行うとともに、意見や要望等があれば調査票に記載してもらうことで問題点や課題の把握・解消に努める。 ・後送病院からの意見に対しては、対応の方向性や対応結果、考え方等について返答を行うとともに、必要に応じて出務医師へのフィードバックを行い、対応率100%を目標に取組み。	(イ)患者診療実態調査票に記載された意見等への対応 ・1月1日から11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して調査票(851件)を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・回収済みの調査票に記載された意見等は7件あり、そのうち対応が必要な1件についてはすくに対応した。その他6件については、事業団内部や出務医師に情報共有した。			
	指標VI	意見等に対する対応率			
		R2	R3	R4	R5【最終】
	目標値	100%	100%	100%	100%
	実績値	100%	100%		
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a：目標達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった			

年度計画達成状況	【計画】 団体が当該事業年度に取り組む具体的な内容	【実績】 団体が当該事業年度に取り組んだ具体的な内容			
	(ウ)新たに後送病院を希望する医療機関への取組み ・令和2年の新規後送病院数や全体の後送病院数を踏まえ、後送病院数が減少している場合にはより積極的に働きかけるなど、随時、必要な調整を行い、令和3年に1病院以上の参入を目標とする。	(ウ)新たに後送病院を希望する医療機関への取組み ・現在のコロナ禍においては、新規の後送病院参入を増やすことは困難ではあるが、出務医師や看護師等からの聞き取りを中心に新たに後送病院を希望する可能性のある医療機関の情報を収集した。 ・結果として、調整した1病院が新規の後送病院として参入したところであり、引き続き取組みを進めていく。			
	指標VII	新規後送病院数			
		R2	R3	R4	R5【最終】
	目標値	—	1病院	1病院	1病院
	実績値	—	1病院		
当該年度の目標達成状況	a(i)	《達成状況》 a：目標達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成：(i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった			

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	C	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	
	当該事業年度の達成状況について						
	<p>・後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収については、一部未回収ではあるが、該当病院からは電話にて後日送付する旨の確約を得ており、年度内には100%の回収が実現できる見込みである。</p> <p>・意見等については7件であったが、対応が必要な1件についてはすぐに対応し、その他6件については回答等は不要であった。その内容は事業団内部や出務医師に情報共有した。</p> <p>・現在のコロナ禍においては、新たに後送病院を希望する医療機関を見つけることは極めて困難ではあるが、出務医師や看護師等から聞き取りを行い、可能性のある医療機関の情報を収集した。</p> <p>・結果として、調整した1病院が新規の後送病院として参入したところであり、引き続き取組みを進めていく。</p>						
	最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について						

市の審査	中期計画に対する進捗状況 【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	「様式1：中期目標(3)」 に対する取組の有効性	A	A：有効であり、継続して推進 B：有効でないため、取組を見直す	
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果						
	回収された患者診療実態調査票を確認し、意見に対する対応についての説明を受けたところ、取組は予定どおり進捗している。指標の一部について目標未達成ではあるものの、前年度の実績を上回るとともに次年度に向けての改善策も検討しており、外郭団体の自己評価は妥当である。						
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果						

新型コロナウイルス感染症の急拡大の中において、患者診療実態調査票の回収については目標に届かなかったものの、前年度の実績を上回っている。また、後送病院からの意見等には適切に対応がなされており、既存の後送病院との連携を密にしていることは評価できる。未達成の目標については、次年度に向けての改善策を着実に実行するとともに、引き続き、後送病院を安定的に確保できるよう取組を進めていく必要がある。